

ベトナム商工会議所 ロック会頭と日本メコン地域経済委員会 小林洋一委員長との懇談 結果概要

1. 日時：2018年5月30日（水）13:30～14:30
2. 場所：ホテルニューオータニ
3. 出席者：

日本側 小林洋一 日本メコン地域経済委員会 委員長
猫島明夫 日本メコン地域経済委員会 共同委員長
ベトナム側 ブー・ティエン・ロック ベトナム商工会議所 会頭
グエン・ザン・フン SOVICO ホールディングス 会長
タイ・チュアン・チー THAI TUAN グループ 会長兼 CEO
グエン・チー・ザン・ビン T&T グループ 副社長

4. 概要：

小林委員長は、ベトナムは高い経済成長率に伴う高い所得を持つ1億人に迫る人口を有する「一大消費市場」としての関心と魅力が高まっていると挨拶。また、今後は両国の経済界同士が、ベトナムのマーケットを対象とした新しいビジネスの開発などについて、双方が協力し、情報交換をしていく時期に来ていると感じている、と述べ、今後も、日商とベトナム商工会議所との間の情報交換会を毎年開催していきたいと、提案した。

また、日本商工会議所とベトナム商工会議所間の協力関係が、1993年以降25年間続いており、今回のクアン国家主席の来日を機にこの協定が改定されたことに触れ、今後両国の経済界同士の更なる相互理解と親善を深めていきたいと強調した。

ロック会頭は、ベトナム首相府によるベトナム商工会議所への投資・貿易誘致活動の委託について、ベトナム政府は政策立案に集中し、公的なサービスの実行部分をベトナム商工会議所が担うのが目的であるとの説明があった。また、「ベトナム商工会議所は、企業を熟知しているので、新たなサービスが提供できる」と述べ、今後の両所との関係強化に期待を寄せた。



ロック会頭(右から2人目)と懇談する小林委員長(左から2人目)と猫島共同委員長(同1人目)